



◎もくじ (2012年2月号)

- 2 芦北町成人式
- 3 カンボジア学校建設募金活動
- 4 まちの出来事
- 6 熊本県合同防災特集
- 8 高額医療費制度／障害者手当
- 9 鳥獣被害対策だより
- 10 保健センターだより (特定健診・がん検診)
／芦北に残る文化遺産 (佐敷隧道)
- 11 くまもと家庭教育 10 か条／図書紹介
- 12 まちからのお知らせ
- 14 警察署／消防署
- 15 書◇短歌／出生・おくやみ
- 16 熊日三太郎駅伝／星野富弘美術館だより

今日を門出に1人の成人として
社会人の仲間入りをします



自分たちにもできる 国際貢献

芦北町国際交流協会（竹崎一成会長）が取り組んでいる「カンボジアに学校を贈る運動」。この運動は平成9年に佐敷小児童の活動から始まりました。その後、活動は町全体に広がり、カンボジアに建てた学校は4校になります。

本年1月までに活動した学校や寄附した学校の取り組みを紹介します。



▲子どもたちに貢献しようと地域の人も参加しました



▲芦北幼稚園児も魚つりゲームなどでバザーを楽しみました

小学生たちは「いらっしやいませー」「安いよ安いよ」「ゲーム楽しいですよ」と声を張り上げ勧誘し募金を呼び掛けていました。学校は保護者や地域からの人で大賑わい。皆さん各教室を周り買い物やゲームを楽しんでいました。

チャリティーバザー

佐敷小で恒例となったチャリティーバザーが1月27日に開催されました。今年で17回目の開催です。毎年、どんな催しをするのかクラスごとにアイデアを出し、みんなが楽しめるよう企画しています。児童が家から持ってきた新品の茶碗やコップなどの生活余剰品や絵本を安く販売したり、10円から参加できる肩たたきや輪投げ、くじ引きといったゲームをしたりと催し物が盛りだくさんでした。

米・サラたまを販売

大野小は、お米とサラたまねぎを栽培。販売した収益金の全額をカンボジアに学校を贈る運動へ寄附しました。1月12日に児童を代表して5・6年生4人が芦北町国際交流協会の竹崎会長へ募金を手渡し、「一人でも多くの子どもが学校に通えるようこれからも募金活動を頑張る。この大野小の伝統をこれからも引き継いでいって欲しい」と後輩へ活動継続のお願いもしました。

大野小が募金活動をするのは今年で7年目となり、これまでに約92万円を芦北町国際交流協会へ寄附しています。



▲小雨降る中、大野小児童4～6年生で田植えを行いました（昨年6月）

食育を通じて

湯浦小の5年生は食育の一環として米づくり活動を通じた取り組みを行いました。一昨年、カンボジアからの研修生チャンター先生を受け入れたことから児童が自発的に募金活動に取り組みました。小学校近くの田んぼで田植え、稲の成育の観察、稲刈りを行い、収穫したお米の一部を販売しました。その収益金全額を寄附するため1月16日に役場を訪問。5年生を代表して募金を贈呈した児童4人は「お米を作りながらカンボジアの子どものためになるのは嬉しいです」と話していました。



▲「カンボジアの子どもたちが安心して学校に行けるように」と湯浦小児童が寄附

①鶴山善信さん②塔尾風沙さん
③菊川浩平さん④元山幸さん



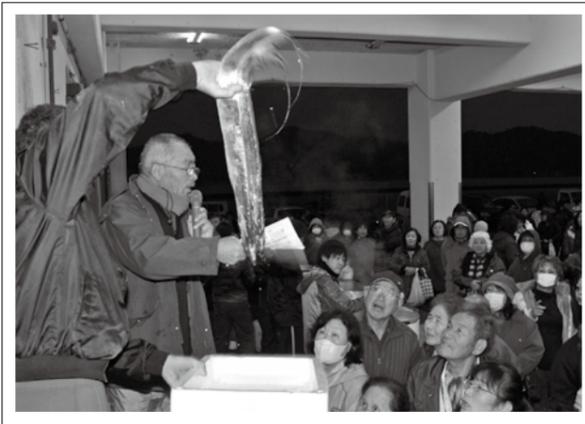
1月8日、澄み渡った青空の下、しろやまスカイドームで新成人198人が出席し芦北町成人式を行いました。

式典前には葦北鉄砲隊が祝砲を放ち新成人の門出に華を添えました。20年間愛情を注ぎ育ててきた両親らが見守る中、式典が始まりました。「今後は世界の中の日本、日本の中の郷土を見つめ、自分自身はどうあるべきかを真剣に考えてください」と竹崎町長が式辞を述べました。

その後、新成人の鶴山善信さん（佐敷中卒業）と塔尾風沙さん（同）の2人が「20歳の抱負」を発表。鶴山さんは「一人ではできないことでもたくさんの方の支えがあればどんなことでも乗り越えられる。支え合い助け合ってこれからの未来へ進みましょう」と、塔尾さんは「どんなときも自分にできる精一杯の努力でひたむきさを忘れず正々堂々挑んでいきたい」と決意を述べました。続いて菊川浩平さん（湯浦中卒業）が交通安全宣言をし、この日最初に受付をした野田菜々美さん（佐敷中卒業）に新成人を代表して芦北町から記念品を贈りました。最後に元山幸さん（田浦中卒業）が「私達のこれまでの成長を支えてくれたすべての人に感謝し、感謝の心をいつまでも忘れず社会の一員として頑張ります」と謝辞を述べました。

5年前はみんな中学生だった若者が多くの経験を積み、立派に成長して今日を迎えました。今ではそれぞれ学生や社会人、結婚して家庭を築いている人と立場が違ふようになりました。この日芦北町で成人式を迎えた198人が198通りの目標や夢に向かって新たな一歩を踏み出しました。

魚の朝市 初競り開催



1,500円で競り落とされた太刀魚。その他にもタコやスズキ、メバルなどの競りがありました

今年で19年目を迎えた魚の朝市が1月22日に行われました。会場となった芦北漁協は約400人の客で大賑わい。初競りでは、大振り新鮮な太刀魚を1,000円から競り始め、「1,100円」、「1,200円」と会場から威勢のいい掛け声が上がっていました。競りが終わると会場では魚介類などが販売され、大勢の人が新鮮な魚などを買い求めていました。また、太刀魚や足赤エビなどが入った魚介類セット30箱などの抽選会も行われました。朝市の最後には太刀魚の刺身30kgや鯛のみそ汁が来場者に振る舞われました。魚の朝市は、毎月第2土曜、第4日曜日に開催されています。

凧を揚げてみよう



凧揚げ後に参加者全員で記念撮影。くまモンの形をした凧も登場しました

近年あまり見掛けなくなった子どもの正月の遊び道具「凧」を作る教室が御立岬公園みかんの家で行われました。この事業は水俣・芦北地域資源を生かした環境学習などを行う「水俣・芦北地域環境フィールドミュージアム事業」の一環で実施。今回は町内外の親子連れ約30人が参加し、竹ひごを上手に組み、バランスが取れているかを講師の人たちに教わりながら2種類の凧を作りました。凧を作り終えた子どもたちは、海水浴場に移動し凧揚げを開始。なかなか上手に凧を操れない子どももいましたが、保護者や講師に教わり、上手に空高く凧を揚げていました。凧揚げ終了後は参加者にぜんざいが振る舞われました。

笑顔でマーチング♪

第8回芦北町音楽祭を1月22日にしろやまスカイドームで開催しました。オープニングを芦北町吹奏楽団が務め、専修大学玉名高校吹奏楽部をはじめ、県内の小中高5団体が出演。司会は芦北町親善大使のえみりーが出演団体へのインタビューを交えながら行いました。熊本市立三和中の生徒は「演奏を聴いている皆さんに私たちの笑顔と楽しさが伝わるように精一杯頑張ります」と話し、元気一杯に演奏しました。第1部コンサート・第2部マーチングともに子どもたちは息のあった演奏・演技を見せてくれました。約500人の観客は軽快なリズムに手拍子をしたりと音楽祭を楽しんでいました。



出演者全員が参加した最後のフィナーレ

韓国の料理が給食に

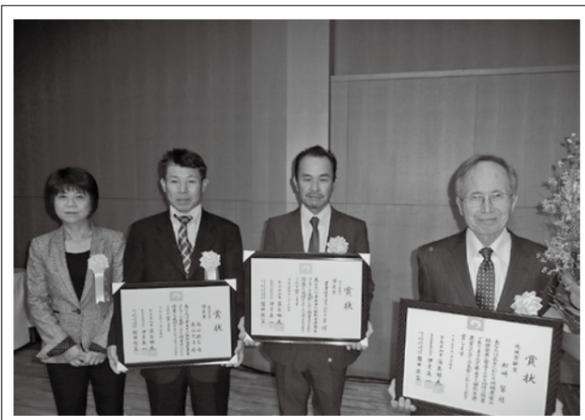
1月24日は学校給食記念日です。給食に関心を持ってもらうために全国でさまざまな取り組みが行われています。芦北町では1月23日から27日を給食週間とし、この期間、芦北産の野菜や肉、魚などを使った特別献立をつくり、給食に出しました。

また、1月27日、田浦小学校では外国の食事を知ってもらおうと韓国の伝統的な料理であるプルコギ、ナムル、ワカメスープの3品が給食に出ました。子どもたちは「韓国料理もおいしいね」とおいしそうに食べていました。その後、給食集會が開かれ、芦北町の李国際交流員が韓国の食文化について講演を行いました。



韓国料理をおいしいと食べる子どもたち

県農業コンクールで受賞



写真左から高山敏広さん・久子さん夫婦、松崎俊介さん、松崎馨さん

平成23年度熊本県農業コンクール大会表彰式が、1月24日に熊本市の熊本テルサで開催されました。芦北町からは、デコポン・甘夏の経営・生産技術の改善に積極的に取り組んでいる高山敏広さん・久子さん夫妻（小田浦2）が経営体部門の優良賞を受賞。水稲作業の受託や春ソバの栽培を行うとともに、地産地消活動、食育活動に取り組んでいる農事組合法人みのり会（代表 松崎俊介さん・大野）も食と農部門で優良賞を受賞しました。

また、農業委員や圃場整備の換地委員長として、地域農業の発展に尽力した松崎馨さん（大野）は地域貢献賞を受賞しました。



春野芦北警察署長（写真左）から大石肥後銀行佐敷支店長（写真中央）に感謝状が渡されました

振り込め詐欺を未然に防ぐ

振り込め詐欺を未然に防いだとして肥後銀行佐敷支店に芦北警察署長感謝状が贈られました。

昨年末に町内の60歳代の女性が小切手でお金を送りたいと肥後銀行佐敷支店を訪問。対応した行員が詳しく聞いてみると「宝くじ約300万円を受け取る権利が当たった」とのダイレクトメールが女性に届き、その権利を得るための必要なお金を送ろうとしていたことが分かったため、振り込め詐欺であると疑い、芦北警察署へ通報しました。その後、駆けつけた警察官と一緒に女性を説得し未然に振り込め詐欺を防止しました。少しでもおかしいと思ったら警察へ相談してください。



いおきべ まこと 真 さん 五百旗頭

◎ Profile
昭和18年兵庫県西宮市生まれ。京都大学法学部卒、同大学大学院修了。神戸大学大学院教授、日本政治学会理事長などを歴任。吉田茂賞、吉野作造賞など受賞多数。現在、防衛省防衛大学校長、東日本大震災復興構想会議議長を務める。68歳

熊本県は、九州の中央に位置し、自衛隊など防衛拠点が集中しています。熊本県が自らの安全性を高めながら助ける能力を持つことが、日本全体にとっても大変重要なことだと思います。県民の皆さんも地域のつながりを大事にしなから減災・防災の心を大切にしてほしいと思います。

Special Interview

交流が人を救い、救われる—

東日本大震災復興構想会議議長や防衛大学校長を務め、阪神・淡路大震災を経験した五百旗頭真さん。TKU報道フォーラムのために来熊した五百旗頭さんに災害において重要なことは何なのかを聞きました。

阪神・淡路大震災の時、
私は兵庫県西宮市の自宅にいました。直下型地震のすさまじい揺れに生きた心地がしませんでした。室内を家具が飛び交うのを感じました。でも、家族全員が無事だと確認できたときは、心からホッとしました。
停電で辺りは真っ暗でした。人は、情報の暗闇の中では、あらゆる妄想をしてしまっています。「これほど揺れるのであれば、日本が沈没してしまっただけじゃないか」とさえ思いました。その後、トランジスタラジオで淡路島が震源であることを知りました。

地域
災害時に情報を得ることは、安心感を得ることです。情報のありがたみを改めて認識しましたね。
地域コミュニティで支え合うことも、防災ではとても大事なことです。阪神・淡路大震災の時、救出された人が多い地域には「祭り」がありました。祭りには、住民同士が交流し、お互いに協力し合おうという雰囲気生まれる効果があります。そんな交流のある地域では、誰かが、がれきに埋もれたとしても「あそこには誰かいたはず」と助け合えるのです。こうし

日
た「共助」を進めるためには、日頃からのコミュニケーションが大切なのです。年に1回でも祭りやスポーツ大会などで交わりのある地域になることが、とても大切だと思います。人を助けるためには、自分の安全を確保することが大切です。自らが災害に対する強さを持つば、人を助けることができるのです。
熊本は地震の多い国で、復興させて、次の災害に備えなければなりません。東日本大震災を忘れず、この悲惨をかみしめつつ、必ず来るであろう次の大災害への減災に努めることです。
熊本県は、九州の中央に位置し、自衛隊など防衛拠点が集中しています。熊本県が自らの安全性を高めながら助ける能力を持つことが、日本全体にとっても大変重要なことだと思います。県民の皆さんも地域のつながりを大事にしなから減災・防災の心を大切にしてほしいと思います。



愛する人を守る 二つの言葉

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちの想像をはるかに超えた被害をもたらしました。約180万人が暮らす熊本県でも、災害が発生しないという保証はどこにもありません。自分や大切な人の命を守るため、今一度、防災について考えてみましょう。

多くの命を救った奇跡

災害が起きたとき、あなたを助けてくれるのは誰だと思いますか。自衛隊や警察、消防署の人だと思いませんか。
東日本大震災の死者・行方不明者は、合わせて約2万人を数えました。そのような大災害の中、多くの子どもが命が助かった地域があります。それは岩手県釜石市。同市は津波による被害を受ける可能性が高いため、防災教育を徹底してきた地域です。その教育を受けた子どもたちは、避難に関して十分な知識を持ち、訓練を積み、助け合う精神を育んでいました。地震が発生すると、釜石市の中学生たちは、津波が発生することを想定し、自分の身を自分で守りながら、小学生と保育園児を連れて避難しました。このことから、大きな災害

が発生した場合には、まず自分の命は自分で守ることが大切なの分かります。

奇跡から学ぶ自助と共助

津波による釜石市の小中学校が管理する生徒の犠牲者はゼロでした。それは「釜石の奇跡」としてメディアなどで報じられました。しかし、子どもたちは教えられた通りに行動しただけです。彼らに根付いていた自分の命は自分で守る「自助」と地域の人たちが同士で守り合う「共助」の精神。「釜石の奇跡」は、奇跡ではなく、当然の結果だったのかもしれない。
あなたを守るのは、あなた自身。そして、大切な人を守るためには、お互いに助け合うことが重要です。「自助」と「共助」を知ることが、防災の意識を高めることにつながるのです。

白川大水害 (昭和28年6月)



県北中部を中心に発生した集中豪雨。死者・行方不明者は500人超、家屋全壊は1,000戸を超えた大水害。

台風18号災害 (平成11年9月)



県内全土が大きな被害を受けた台風災害。宇城市(旧不知火町)では、高潮で12人が犠牲になった。

県南集中豪雨 (平成15年7月)



九州の広範囲を襲った集中豪雨。水俣市では大規模な土石流が民家を直撃。19人が犠牲になった。

梅雨前線豪雨 (平成19年7月)



梅雨前線による豪雨で河川が氾濫した豪雨災害。美里町では道路寸断、土砂崩れで集落が孤立した。

熊本県内の広報担当者が一緒に制作した防災特集。地震や風水害などの自然災害は、私たちに突然襲いかかります。家族や恋人、友人を守るために大切なことは「自助」と「共助」でした。二つの言葉は、まず自分が生き延びることと日頃から地域のつながりを大事にすることの大切さを教えてくれました。愛する人を守るために、二つの言葉を忘れないでください—。

(参考) 熊本県防災情報ホームページ (写真) 熊本県大水害写真集

熊本県 災害年表

幾度となく自然の猛威にさらされてきた熊本。過去にどのような災害が発生しているのでしょうか。熊本を襲った災害を年表で振り返ります。

電気柵とは？

電気柵とは動物にショックを与え動物を追い払い、大切な農作物を守るシステムです。「電気柵は心理柵」といわれることがあります。これは、物理的に動物が超えることができる柵であっても、1度電気ショックを経験した動物にとっては「近寄りたくない」という心理的バリアを生じさせ、侵入を防ぐことに本質があることを意味します。つまり電気柵には「電気ショックによる痛み」「電気柵は危険であると学習させる心理柵」の2つの効果があります。このことにより、動物の慣れを防ぐことができるので長い間効果を発揮します。



芦北町では、鳥獣による農林産物被害の軽減を目的に芦北町有害鳥獣被害防止対策協議会を平成21年度に設置しました。この協議会の活動は、関係機関との情報共有や連携強化を図りながら、効果的な鳥獣被害防止対策を推進することです。

被害防止対策推進活動の一環として「鳥獣被害対策だより」を作成しました。今回は電気柵（イノシシ対策）の効果的な設置の仕方を掲載しますので参考にしてください。

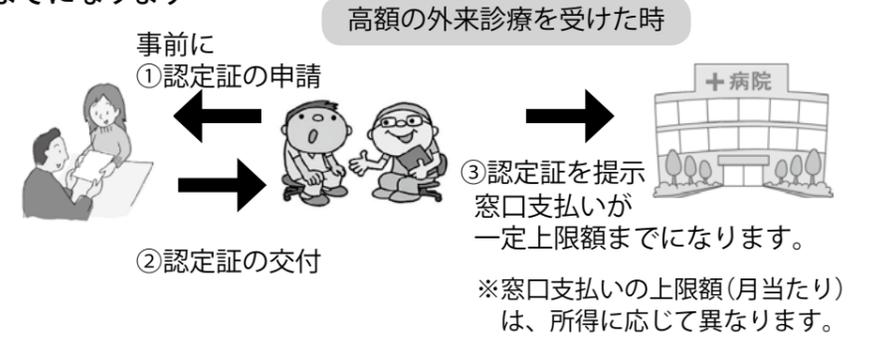
芦北町有害鳥獣被害防止対策協議会事務局（農林水産課内）
☎（82）2511（内線271）

鳥獣被害対策だより

高額な外来診療を受ける皆さまへ

「認定証」などを提示すれば、4月1日から窓口での支払いが一定の上限額までになります

これまでの高額医療費制度の仕組みでは、高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合、一旦その額を支払わなければなりませんでしたが、4月1からは、限度額を超える分を窓口で支払う必要がなくなります。

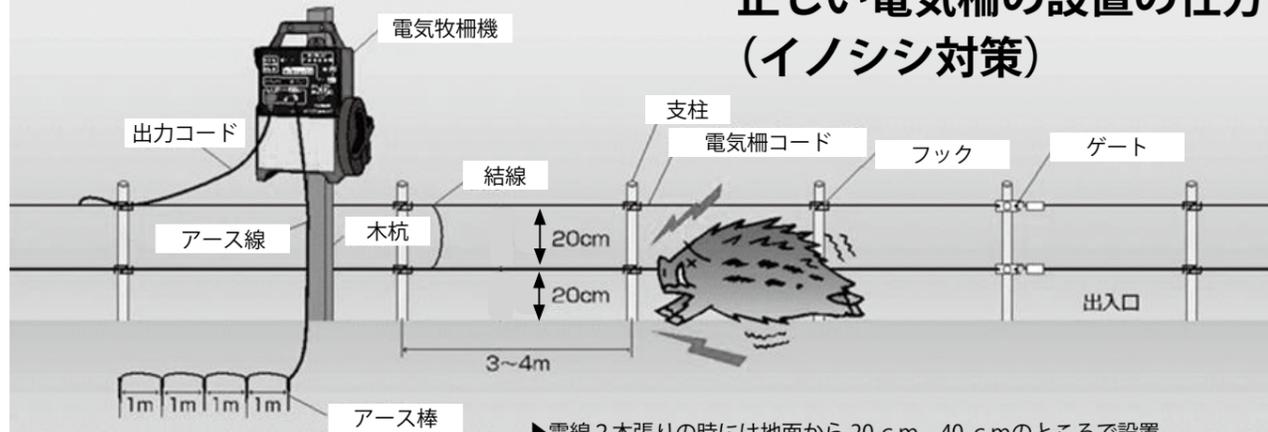


高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
・70歳未満の人 ・70歳以上の非課税世帯等の人	加入する健康保険組合などに「認定証」（限度額適用認定証）の交付を申請してください	「認定証」を窓口で提示してください
70歳以上75歳未満で、非課税世帯などではない人	必要ありません	「被保険者証（高齢受給者証）」を窓口で提示してください
75歳以上で、非課税世帯などではない人	必要ありません	「後期高齢者医療被保険者証」を窓口で提示してください

○「認定証」を提示しない場合は、従来どおりの手続きになります。（高額医療費の支給申請後に、支払った窓口負担と限度額の差額が後日、加入している健康保険組合などから支給されます。）

○事前申請など詳細は、加入されている健康保険組合、全国健康保険協会、市町村（国民健康保険、後期高齢者医療制度）、国保組合、共済組合までお問い合わせください。

正しい電気柵の設置の仕方（イノシシ対策）



- ▶電線2本張りの時には地面から20cm、40cmのところまで設置。
- ▶電線3本張りの時には地面から20cm、40cm、60cmのところまで設置。
- ▶アース棒は湿り気のあるところに全て埋設しましょう。間隔は約1mです。
- ▶漏電を避けるため、除草処理など適切な維持管理をしましょう。

ご存知ですか 各種障害者手当

在宅生活で介護を必要とする重度の障がいを持つ人とその家族などに支給される手当があります。各手当には受給要件（診断書による認定、所得制限など）がありますので福祉課までご相談ください。

特別障害者手当

●受給資格

20歳以上で身体または知的・精神に著しく重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする人

●手当の額

月額26,340円

●手当の受給（申請）ができない人

- ・病院または診療所に継続して3カ月を超えて入院している人
- ・施設等に入所している人

障害児福祉手当

●受給資格

20歳未満で身体または知的・精神に重度の障がいがあり、日常生活において常時の介護を必要とする人

●手当の額

月額14,330円

特別児童扶養手当

●受給資格

- 手当の受給（申請）ができない人
- ・施設等に入所している人
- ・当該障がいを支給理由とする年金を受給している人



●手当の額

1級 月額50,550円
2級 月額33,670円

●手当の受給（申請）ができない場合

- ・障がい児が父母等に監護されていない場合（施設入所等）
- ・障がい児が当該障がいを支給理由とする年金を受給している人

*申請・問い合わせ先
福祉課 障害者福祉係

☎（82）2511（内線153）

宝くじ助成事業で 衣装などを購入

田浦3・4区では財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業（宝くじ助成金）を活用し、田浦祝い唄保存会の衣装・音響機材一式と阿蘇神社例大祭で用いる子ども神輿などを整備しました。この整備で田浦3・4区は伝統文化を後世に継承し、後継者育成にも力を入れた活動をしていきます。



これまで法被だった祝い唄保存会の衣装が袴姿になります



おすすめ 図書紹介
BOOK

「極北クレイマー」
海堂 尊 著 (朝日新聞出版)



芦北町立図書館
田浦図書館

財政破綻にあえぐ極北市の市民病院に赴任した外科医・今中を数々の難局が待っていた。果たして今中は医療崩壊の現場を再生できるのかー。

「運命の人」
山崎 豊子 著 (文藝春秋)



芦北町立図書館

沖縄返還交渉にまつわる密約をめぐる、戦後政治の闇に挑んだひとりの新聞記者の挫折と再生の物語。テレビドラマの原作です。

「かわいいペットがいっぱい 5つのお話」

日本児童文学協会 編集 (文溪堂)



芦北町立図書館

とつぜんしゃべりだしたネコ、ふわふわで親指ほどのふしぎな生きもの。みりょくてきなペットがたくさん登場する5つのお話です。

**家庭教育を
考えてみましょう**

熊本県教育委員会
096(354)8822
芦北町教育委員会(生涯学習課生涯学習係)
(87)1171(内線144)

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。子どもたちに基本的な生活習慣や人に対する思いやりなど基本的なルールやマナーを身につけさせることは、家庭の重要な役割です。
熊本県教育委員会は家庭教育の指針として「くまもと家庭教育10か条」を作っています。これは、家庭で大切にしたい9つの条文と「わが家の1か条」からできています。皆さんの家庭でも家族で大切にしたいことや約束事などを話し合ってみましょう。

くまもと 家庭教育10か条

- 第1条** (家族の信頼感)
伝えよう 愛しているよの メッセージ
『わたしは、家族にとってかけがえのない存在なのです』
- 第2条** (あいさつの習慣化)
朝昼晩 元気にあいさつ 習慣に
『わたしは、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」のあいさつをすると、いきいき過ごせます』
- 第3条** (善悪の区別)
教えよう 事の善し悪し 躰から
『わたしは、していいこと・してはいけないことをきちんと教わりたいのです』
- 第4条** (感謝の心)
「ありがとう」は 生きゆく心の 出発点
『わたしは、みんなに感謝して生きています』
- 第5条** (我慢する力)
肥後っ子の あすを支える がまん力
『わたしにとって、一つ一つの小さな我慢の積み重ねが生きていく糧になっています』
- 第6条** (命の大切さ)
自分の命 みんなの命 どれもが世界で1つだけ
『わたしは、生まれてきてよかったです。みんなの命を大切にします』
- 第7条** (食事・団らん)
家族仲良く 食事・団らん 心と体に栄養を
『わたしは、家族仲良く食事をしたり話をしたりする時間がとっても好きです』
- 第8条** (体験の意義)
体験で 得られる本物 知と心
『わたしは、体験を通して気づいたのです。わかったのです。変わったのです』
- 第9条** (地域全体での子育て)
この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝
『わたしのことを、近所のおじさん、おばさん、おにいさん、おねえさん、みんなが見守ってくれているのです』
- 第10条** (わが家の1か条)
※各家庭で付け加えてください。

保健センターだより

特定健康診査とがん検診、受けていますか？

◎特定健康診査

40歳～74歳の人を対象にした生活習慣病予防のための健診で、市町村の国保、協会けんぽ、共済組合など各医療保険者に実施が義務付けられています。

自覚症状がないままに進行する脳卒中や心臓病、腎臓病等の危険因子を発見するには、この健診を受けて自分の健康状態を検査データで判断することが大切です。それぞれの検査値の異常がわずかであっても、肥満や高血圧、高血糖、高LDLコレステロール、高尿酸など異常が重なってくると血管を傷めてしまいます(動脈硬化を進めます)。そのため、動脈硬化を進行させる危険因子がないかを健診結果で確認することがとても重要になってきます。

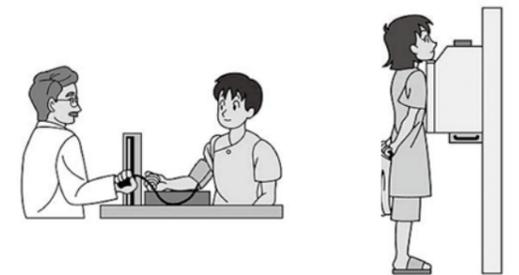
「健診結果から異常となっている項目は何か?」「生活習慣との関係は?」など健診結果が身体の状態や生活習慣との関係を教えてください。自覚症状がないからと安心せずに健診結果で自分の身体の状態を確認していきましょう。

◎がん検診

国民の2人に1人が「がん」にかかり、3人に1人が「がん」で亡くなっています。がんは相当進行した段階で初めて症状が出る場合が多く、早期のがんでは症状が出ることはほとんどありません。

がん検診は、「がん」を早期に発見し治療することにより、がんによる死亡のリスクを軽減することを目的に実施しています。

早期にがんを発見するために、自覚症状がないからこそ定期的ながん検診を受けていきましょう。



*問い合わせ先 保健センター ☎86-0200

芦北に残る文化遺産
⑨ 旧佐敷隧道

(国登録有形文化財)
平成14年8月21日登録

1月8日に開催された熊日三太郎駅伝では多くの人が沿道で一生懸命走る選手を応援したのでないでしょうか。その三太郎駅伝は明治時代の旧国道をコースとしていますが、その途中に西洋の城門を思わせるレンガ積み、旧佐敷隧道(隧道とはトンネルのこと)があります。

薩摩街道最大の難所といわれた三太郎峠は、交通・物流の大きな妨げとなっていたため、明治時代になって国道建設の計画が持ち上がり、各地区の激しい誘致合戦を経て、国道37号(現在の旧国道)が整備されることになりました。トンネルの設計・施工にあたったのは、ドイツ人(オランダ人という説もある)の技師で、その資金には日清戦争の賠償金が充てられました。

明治34年(1901)に着工、明治36年(1903)5月に完成したトンネルの全長は433.5mで、完成当時は国内で6番目、九



▲旧佐敷隧道。向こう側の出口が見えています

州で2番目の長さを有し、建材には芦北で生産されたレンガが使用されたといわれています。国道37号は、後に国道3号の一部となり、戦後も基幹道路として利用されました。昭和40年(1965)に新しい国道3号が開通すると、狭くてカーブの多い旧国道は交通量が激減し、昼間でも真っ暗なトンネルは「幽霊トンネル」として格好の肝試しスポットになっていました。現在は近代土木遺産としての価値が認められ、国の登録文化財となっています。

真っ暗なトンネルの真ん中付近には、旧佐敷町と旧田浦村の境界板が壁面にはめ込んであります。

*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87)1171(内線145)

育児・介護休業法等説明会

少子化の流れを変え、男女ともに仕事と家庭の両立ができる働き方の実現を目指す改正育児・介護休業法が7月1日から全面施行されます。今般の改正に伴い、従業員数が100人以下の事業主に対しても「短時間勤務制度」「所定外労働の制限制度」「介護休暇制度」が適用され、就業規則や育児・介護休業規定の改正が必要となります。

▼申込期限 2月24日(金)
▼日時・場所
【人吉会場】3月2日(金)
午後1時30分～午後4時
人吉カルチャーパレス第2会議室
定員90人

【熊本会場】3月6日(火)
午後1時30分～午後4時
グランメッセ熊本コンベンションホール
定員250人

※参加費は無料です。定員になり次第締め切ります。
*申込・問い合わせ先
熊本労働局雇用均等室
☎096(352)3865

ホームヘルパー
フォローアップ研修

介護資格を持っている人や介護の仕事に関心のある人を対象に介護職の魅力や意義について理解を深めてもらい、意見や情報の交換を行うため、ホームヘルパーフォローアップ研修を開催します。

▼日時 2月23日(木)
午後6時～午後9時
▼場所 水保市総合もやい直しセンター
▼内容
・講演「介護の仕事の魅力と意義(仮題)」
講師 熊本県ホームヘルパー協議会 岩田 昌代 氏
・グループディスカッション
(意見・情報交換会)

▼定員 30人(先着順)
▼申込方法 水保・芦北地域雇用創造協議会のホームページまたは、電話で申し込みください。
▼申込締切 2月21日(火)
*申込・問い合わせ先
水保・芦北地域雇用創造協議会
☎(82)5572

ホームページを活用した
販路拡大セミナー

ホームページを活用して、商品のPRや通信販売を検討している人を対象としたセミナーを開催します。

平成23年度
食品衛生責任者養成講習会

▼日時 3月8日(木)
午前9時～午後4時
▼場所 水保市公民館 研修室
▼受講料
食品衛生協会員 4,000円
非会員 5,000円
※ただし学生は会員と同額

全国豊かな海づくり大会の
テーマを募集します

平成25年に熊本県で開催する第33回全国豊かな海づくり大会のテーマを募集します。募集要項や過去大会のテーマ一覧は、ホームページをご覧ください。

▼募集締切 3月6日(火)
▼募集内容 海づくり大会の趣旨を簡潔に表現した標語など
(過去大会テーマ例・つくろうよみんなが笑顔になれる海)
▼応募方法 テーマ、作品意図、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を明記のうえ、郵送、FAX、

対象としたセミナーを開催します。
▼日時 2月15日・16日・17日・20日・21日・23日・24日(7日間)
午後7時～午後9時

▼場所 みなまた環境テクノセンター
(水保産産団地内)
▼内容
・HTMLの基礎
・Web実践
・ネットショップ基礎

▼定員 10人(先着順)
▼申込方法 水保・芦北地域雇用創造協議会のホームページまたは、電話で申し込みください。
▼申込締切 2月13日(月)
*申込・問い合わせ先
水保・芦北地域雇用創造協議会
☎(82)5572

平成24年度熊本さわやか大学校
入学生募集

▼入学資格 平成24年4月1日時点で60歳以上であり、学習意欲のある県内在住の人(すでに、履修された人は受講できません。)

▼募集定員 熊本校 100人
八代校 80人
▼募集締切 3月8日(木)
▼講座内容 「いつまでも健康、元気がいちばん」、「健康は食生活から」、「知識を磨いて更なる飛躍を」、「新しい世界にふれてみよう」、「み

んなで手をつなぎ助け合い」、「これからもおしゃれに」など年間40回開催日・時間

○熊本校 毎週木曜日
午後1時30分～午後3時30分
○八代校 毎週火曜日
午後1時30分～午後3時30分
▼受講期間 平成24年4月～平成25年3月

▼会場
○熊本校 熊本県総合福祉センター
○八代校 やつしろハーモニホール
▼受講料等 入学金・2,000円
受講料・12,000円
(入学時に一括納付)
▼申込方法 役場福祉課または教育委員会に置いてあるパンフレットで申し込んでください。

水保芦北地域の写真展

▼開催日 2月15日(水)～29日(水)
午前9時～午後4時30分
▼場所 徳富蘇峰・盧花生家
(水保市浜町)
*問い合わせ先
徳富蘇峰・盧花生家
☎(62)5899
※月曜日は休館

熊本県環境センター
3月のイベント

◎「わたしたちのまちの〇と×」展
熊本環境フォトコンテスト」展
▼日時 2月28日(火)～3月23日(金)
▼場所 熊本県環境センター
◎春のこども祭り
リ・グラスアートや竹箸づくりなどの体験活動を通して、環境について楽しく学んでもらうイベントです。お楽しみ抽選会もあります。くまモンもやっています(お昼ごろ)。
▼日時 3月20日(火・祝)
午前10時～午後3時30分
▼参加費 無料
*参加申込は不要です。
*問い合わせ先
熊本県環境センター
☎(62)2000

桧屋春まつり

佐敷宿交流館「桧屋」では、ひな人形を飾る桧屋春まつりを2月12日から3月31日まで開催します。期間中の3月11日は「お雛まつり」イベントを行います。甘酒の振る舞いや抽選会もあります。



○お雛まつり
▼日時 3月11日(日)
午前11時～午後3時
*問い合わせ先
芦北町薩摩街道佐敷宿交流館
☎(61)3770(桧屋)
※火曜日は休館

田浦子育て支援センター 3月の行事

2日(金) ひな祭り集会
8日(木) お別れ遠足(日奈久シー・湯・遊)
15日(木) 身体測定・誕生会
19日(月) お別れパーティー
*支援センターは未就園児と保護者誰でも利用できます。気軽にお越しください。
◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午
午後2時45分～午後5時15分
*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎87-0034

熊本県シルバースポーツ大会
参加者募集

▼競技種目 ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、健康マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、なぎなた、太極拳、ソフトバレーボール、サッカー、ダンススポーツ
▼競技会場 熊本県民総合運動公園 他4会場
▼日程 5月10日(木)～22日(火)
▼参加資格 県内在住で昭和28年4月1日以前に生まれた人
*健康マラソン女子は50歳代の人も

お誕生おめでとう

H24.1.1～1.31 受付分（敬称略）受付件数 10 件

氏名	出生日	性別	保護者	区
橋本 佳音	12.28	女	時 弘	花岡西
川中 信一	12.30	男	信 行	湯浦南
淵上 統生	1. 5	男	裕 巳	沖
徳永 玲希	1. 7	女	章 典	大野
上野 多嬉	1.17	女	友 晴	湯浦南
村田 羅夢	1.19	女	秀 年	小田浦2
寒川 友梨奈	1.20	女	和 也	宮崎
牧野 隼翔	1.20	男	大 地	諏訪
坂川 斗真	1.26	男	和 広	宮崎

※本町窓口へ届出をした人で、承諾を得た人を掲載しています。
町外に提出した方で、掲載を希望する場合は、役場秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H24.1.1～1.31 受付分（敬称略）受付件数 35 件

死亡日	氏名	年齢	区
1. 1	山口 幸男	66	湯浦南
1. 2	田多良 ミツ子	87	田浦4
1. 5	宮島 優	96	湯浦北
1. 5	江口 タマエ	91	大岩1
1. 6	岩本 ツギ	92	岩屋川内
1. 7	山下 學	70	乙千屋
1. 7	野口 清子	66	小田浦7
1. 9	林田 稔	81	花岡東
1.10	田爪 休	80	花岡西
1.11	芥川 大吉	85	花岡東
1.12	三浦 一昭	78	計石西
1.12	宮本 ミヨ子	77	計石西
1.12	坂口 唯彦	85	市野瀬
1.12	中村 俊男	89	白岩
1.13	井本 サチコ	81	湯浦東
1.14	川口 均	83	大川内東
1.14	山本 稲子	53	伏木氏
1.16	桑原 キエ	86	西告
1.17	木村 キミエ	100	湯浦南
1.17	柿内 重光	70	大尼田
1.17	吉田 ヤスエ	89	小田浦5
1.17	平生 勘松	61	湯浦東
1.17	福井 藤吉	100	田浦町1
1.19	告馬 強喜	80	東告
1.19	三道 輝義	82	諏訪
1.22	志藤 茂子	77	湯浦北
1.23	宮下 フジノ	82	田川
1.24	福永 未喜	97	小田浦2
1.25	宮山 剛二	60	本町
1.28	徳永 エツ	84	大野
1.30	木林 常男	52	白木
1.30	石橋 良子	73	古石南

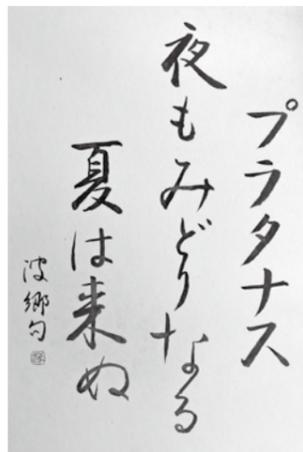
※本町窓口へ届出をした人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

人口の動き (H24.2.1 現在) ()内は前月比

人口	19,829人	(-32)
男	9,247人	(-16)
女	10,582人	(-16)
65歳以上	7,044人	(+12)
世帯数	7,613世帯	(-5)

「夏は来ぬ」(石田波郷の句より)

上村フキ子



【町民講座】

書道 (かな)

【芦北短歌会】

短歌

空に舞う日を待ちのぞみ新春を白木蓮の蕾ふくらむ
 ブラジルより音楽つきのカード来て杳くなりゆく人懐かしむ
 シカゴの友家族写真の賀状には雪に遊べる満面の笑み
 初稽古今年こそはと舞ってみる気合いれるは毎年のこと
 夕せまる干潟に一羽五位鷺は凍てつく風にその身をさらす

四宮美佐子
 四宮 和江
 山下よし子
 農頭 圭子
 宮嶋 良子

【田浦短歌会】

のどかなる海辺を走る一両電車のアニメの模様を見るに楽しや
 一瞬の隙みて車道横切りしたいたち止まりて後振り向く
 初日の出仰ぐ里山に年祝の黄金いろなす甘夏みかん
 朝露にしつとり濡れしかたばみの黄花日だまりに小さく光りぬ
 寒の入りの凍える朝にひっそりと紅の椿の一輪咲けり

山下 忠子
 岡松 克博
 溝口 陵子
 本郷たもる
 石山 澄子

芦北警察署

フィッシング110番

フィッシングとは・・・

銀行やクレジットカード会社などの企業を装った電子メールやホームページを用いて個人の金融情報等を聞き出そうとする手口です。

＜聞き出そうとする個人の情報の例＞

- ◎クレジットカード番号、キャッシュカード番号、暗証番号
- ◎住所、氏名、電話番号
- ◎オークション、プロバイダー、電子メールなどのID・パスワード

個人の金融情報などが漏れると、これを悪用して現金を引き出されたり、本人になりすまして不正な売買をされたりするなど、犯罪被害に遭う恐れがあります。

このため、個人情報やカードの情報などを問い合わせる不審な電子メール・ホームページには注意してください。

●問い合わせ先
 芦北警察署 ☎82-3110

～フィッシング詐欺に関する 情報提供をお願いします！～

次のような場合には、情報提供をお願いします。

＜情報提供の例＞

- ①フィッシングをしている偽のホームページを見つけた！
 ➡ホームページのアドレスを教えてください。
- ②フィッシングと思われるメールが来た！
 ➡メールの題名、内容、リンク先等を教えてください。
- ③フィッシングの被害に遭ってしまった！
 ➡被害の状況について教えてください。

なお、具体的な被害の相談については、芦北警察署にお問い合わせください。

相談電話 ☎096-383-9110
 (または#9110)
 ※警察安全相談の代表電話です。最初に「フィッシング110番に電話しました。」と申し出てください。

火事と救急は119

●問い合わせ先
 芦北消防署 ☎82-4731

芦北消防署

火災が発生しやすい時期です

火災予防のために自宅の点検をお願いします！

- ・ストーブやコンロは壁やカーテン、他の家具から十分に離れていますか？ 燃えやすい物が近くにありませんか？
- ・ストーブの上に洗濯物を干したり、コンロの周りにふきんを干したりしていませんか？
- ・仏壇のろうそく、線香のそばに燃えやすい物を置いていませんか？
- ・灰皿にタバコの吸い殻がたまっていますか？
- ・寝タバコ用の灰皿を枕元に置いていませんか？



みなさんのご家庭でもこのようなことを点検されてみてはいかがでしょうか？

平成23年(1月1日～12月31日)の
 芦北町火災、救急発生状況

火災件数	11件
救急件数	747件



新春の三太郎峠を駆け抜けた

第62回熊日三太郎駅伝競走大会

上位と町関係成績

【一般】

◇総合(A、Bチームの合計)

1位 水俣市 4時間40分33秒

2位 芦北町 4時間51分48秒

3位 津奈木町 5時間03分46秒

◇チーム別

1位 水俣A 2時間17分18秒

2位 芦北A 2時間22分52秒

3位 水俣B 2時間23分15秒

4位 芦北B 2時間28分56秒

8位 芦北C 2時間36分11秒

【高校】

1位 水俣高校 2時間22分16秒

2位 水俣工高 2時間27分20秒

3位 芦北高校 2時間28分00秒

【中学】

1位 津奈木中 2時間20分27秒

2位 水俣二中 2時間26分29秒

3位 田浦中 2時間26分55秒

5位 湯浦中 2時間32分22秒

8位 佐敷中 2時間41分30秒

県内の駅伝大会で最も歴史がある第62回熊日三太郎駅伝競走大会が1月8日、三太郎峠をコースに開催されました。大会には水俣・葦北郡市から一般8チーム、高校3チーム、中学8チームの計19チームが参加。凍えるほどの冷たい風が吹く中、選手は1秒でも早くタスキを次の走者に渡そうと懸命に走りました。

一般の部は、この日のために練習を重ねてきた芦北町選手の力走及ぼす、1区からトップを守った水俣市が優勝しました。

寒い中、沿道にはたくさんの方が応援に出て、選手達の背中を押すように大きな声援を送っていました。

芦北町立星野富弘美術館だより

「奇跡の足あと・星野富弘展」を開催中です。星野氏の幼い頃の作品や最近の作品など幅広く展示しています。初めて芦北町にやってきた作品もあります。ぜひお越しください。

◇「奇跡の足あと・星野富弘展」

▼期間 3月11日(日)まで

▼休館日 第2・4月曜日



▲「沖縄」1999年

*問い合わせ先

星野富弘美術館

☎(86) 1600

編集後記

▼「これから権利を主張するばかりでなく大人としての義務を果たしてください」「両親や地域の方へ感謝の気持ちを持たないでください」「これからは若い皆さんの時代です」今年の成人式、先輩から皆さんの言葉が新人に贈られました▼昨年末、町内の飲食店が35年間掲げていたのれんを下ろしました。「ここまでやってこれたのは皆さんの支えがあったこそ。自分だけの力ではありません。皆さんに支えられて幸せです。」と店主は話してくれました▼新成人には人を支える人、人から支えられる人になってもらいたいです。「光陰矢の如し」一日一日を大切に過ごしてってください。成人式を随分前に終えた我々にも言える事です。 (寺)